

■アフター5スター賞(SⅢ)アラカルト(過去10年の分析)

- ※ 第10回は1190mで実施
- ※ 第11回から1200mで実施
- ※ 第14回は馬インフルエンザの影響により11月末の実施
- ※ 記録は8月10日時点のもの

■ダート1000～1200m戦での勝利実績が必須

◇3着内馬30頭中、25頭がダート1000～1200m戦で勝利実績あり

※例外は以下の5頭。

- 第18回優勝 タカオセンチュリー(ダート1400mのOP2着)
- 第19回2着 セントラルコースト(根岸S3着、他OP勝ち)
- 第20回3着 サイオン(ダート準OP1400m勝ち)
- 第21回優勝 サトノタイガー(川崎マイルズ勝ち)
- 第22回優勝 ジョーメテオ(1400mの兵庫ゴールドトロフィー2着)

■準重賞シーサイドカップの上位馬に注目

※シーサイドカップは平成18年から1200mに距離短縮。

シーサイドC上位3着内馬は13頭が出走して3勝、2着2回、3着2回

- 第14回優勝 ベルモントサンダー('07シーサイドC1着)
- 第15回2着 キングビスケット('08シーサイドC1着)
- 第16回優勝 ケイアイジンジン('09シーサイドC3着)
- 〃 2着 パワフルダンディー('09シーサイドC1着)
- 第17回優勝 ヤサカファイン('10シーサイドC2着)
- 第19回3着 トップグラス('12シーサイドC1着)
- 第21回3着 サトノデートナ('14シーサイドC1着)

■シーサイドカップ上位馬以外では、重賞レースの実績馬に注目

◇3着内の30頭中13頭が南関東重賞、もしくはダートグレード競走勝ち

※残り17頭中7頭はシーサイドCの3着内馬。

◇3着内の30頭中14頭が同年の重賞競走で3着内の実績

■同年のダートグレード競走出走馬に要注意

◇同年のダートグレード競走で3着以上だった馬は9頭が出走して2勝、2着2回、3着0回の好成績

※4着以下に敗れた5頭は、第13回13着ロッキーマイル(かきつばた記念1着)、第18回5着コアレスピューマ(東京スプリント3着)、第19回7着フジノウェーブ(東京スプリント2着)、第21回8着アルゴリズム(東京スプリント3着)、第22回5着リアライズリンクス(さきたま杯3着)。

■同年のサンタアニタトロフィー出走馬は巻き返しに期待

(11月施行の第14回を除く)

◇同年のサンタアニタトロフィー優勝馬の出走はなし

◇サンタアニタトロフィー上位3着までの馬は3頭が出走して0勝、2着0回、3着1回

※ただし第16回3着ディアヤマト(←9着)、第20回3着サイオン(←5着)、
第21回優勝サトノタイガー(←9着)、同2着ゴードー(←5着)からの巻き返しに成功。

■前走は5着以上、あるいは重賞出走馬に注目

◇3着内の30頭中、18頭が前走で5着以上

◇3着内の30頭中、25頭が前走で重賞競走またはシーサイドカップに出走

※例外は第17回2着のナイキマドリード(プラチナカップ1着)、第18回1着タカオセンチュリー、
同2着ダイワシークレット、同3着モアザンスマート、第22回3着アルゴリズムの5頭。

■連覇はなし

※歴代でも第10、11回のハタノアドニスのみ

■逃げ切り勝ちは1回

◇逃げ切り勝ちは、第19回ジーエスライカーのみ

※逃げて2着に粘ったのは第13回ベルmontファラオと第21回ゴードーの2頭。

■JRAからの移籍馬が、7勝の活躍

◇JRAからの移籍馬は7勝、2着5回、3着5回と大活躍

◇南関東デビュー馬の優勝は第17回ヤサカファイン、第19回ジーエスライカー、第20回ハードデイズナイト

■TCK所属馬が4勝

※なお、同レース過去全22回において20回は連対を確保している。

◇TCK所属馬 4勝、2着6回、3着5回。3着内率50.0%

◇船橋所属馬 3勝、2着4回、3着4回。3着内率36.7%

◇川崎所属馬 1勝、2着0回、3着1回。3着内率6.7%

◇浦和所属馬 2勝、2着0回、3着0回。3着内率6.7%

■外国産馬は1勝

※外国産馬は17頭が出走して1勝、2着1回、3着2回。

第16回優勝 ケイアイジンジン

■牝馬は1勝、3着1回

※牝馬は19頭が出走して、第20回ハーデイズナイトが優勝。

※第15回パフィオペディラムが3着。

■ 1番人気馬は2勝と大不振

◇1番人気馬 2勝、2着1回、3着0回。3着内率 30.0%

◇2番人気馬 2勝、2着2回、3着1回。3着内率 50.0%

◇3番人気馬 3勝、2着1回、3着1回。3着内率 50.0%

※1番人気馬の不振が目立つ一方、2・3番人気馬はそれぞれ10回中5回3着以内を確保。

■ 馬体重の増減は一桁が条件

※3着内馬30頭中29頭までが上記の条件を充たしていた。例外の1頭は、第15回3着パフィオペ
ディラム(+10キロ)のみ。

■ 前2走のいずれかで掲示板(5着)の確保が理想

※3着内馬30頭中24頭が上記の条件を充たしていた。

■ 勝利数は6歳馬以上が6勝と健闘

◇3歳馬 2勝、2着0回、3着0回。3着内率 6.7%

◇4歳馬 1勝、2着2回、3着3回。3着内率 20.0%

◇5歳馬 1勝、2着1回、3着2回。3着内率 13.3%

◇6歳馬 3勝、2着3回、3着3回。3着内率 30.0%

◇7歳馬 0勝、2着3回、3着2回。3着内率 16.7%

◇8歳馬 2勝、2着0回、3着0回。3着内率 6.7%

◇9歳馬 1勝、2着0回、3着0回。3着内率 3.3%

◇10歳馬 0勝、2着0回、3着0回。3着内率 0.0%

◇11歳馬 0勝、2着1回、3着0回。3着内率 3.3%

■ 石崎駿騎手、坂井英光騎手が2勝

※石崎駿騎手は第14回ベルモントサンダー、第17回ヤサカファインで勝利

※坂井英光騎手は第19回ジーエスライカー、第22回ジョーメテオで勝利

■ ⑥番が3勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	2	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
2着	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
3着	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	2	1	0	0	1	0

■アフター5スター賞(SⅢ)アラカルト(過去全 22 回の分析)

- ※ 第 8 回までは 1800m で実施
- ※ 第 9 回は 1790m で実施
- ※ 第 10 回は 1190m で実施
- ※ 第 11 回から 1200m で実施
- ※ 第 14 回は馬インフルエンザの影響により 11 月末の実施
- ※ 記録は 8 月 10 日時点のもの

■1 番人気馬の勝率は 36.4% と低調

- ◇1 番人気馬 8 勝、2 着 4 回、3 着 0 回。3 着内率 54.5%
- ◇2 番人気馬 3 勝、2 着 6 回、3 着 4 回。3 着内率 59.1%
- ◇3 番人気馬 4 勝、2 着 1 回、3 着 7 回。3 着内率 54.5%

■上位人気3頭によるワンツーは 36.4% と信頼度は低い

- ◇22 回中 15 回は、3 番人気以内の馬による優勝(68.2%)
- ◇22 回中 8 回は、3 番人気以内の馬によるワンツー(36.4%)
- ◇22 回中 3 回が、3 番人気以内の馬によるワンツースリー(13.6%)

■5 歳馬が 7 勝と活躍

- ◇3 歳馬 4 勝
- ◇4 歳馬 2 勝
- ◇5 歳馬 7 勝
- ◇6 歳馬 3 勝
- ◇7 歳馬 2 勝
- ◇8 歳馬 3 勝
- ◇9 歳馬 1 勝

■TCK 所属馬が 13 勝で圧倒

- ◇TCK 所属馬 13 勝
- ◇船橋所属馬 5 勝
- ◇川崎所属馬 2 勝
- ◇浦和所属馬 2 勝

■外国産馬は2勝

◇第12回 ロッキーアピール

◇第16回 ケイアイジンジン

■連覇は1頭

※第10回・第11回優勝のハタノアドニスのみ。

■牝馬は1勝

※第20回ハードデイズナイトが優勝。

■南関東現役騎手では、的場文男騎手、石崎駿騎手、坂井英光騎手が2勝

※なお JRA に移籍した内田博幸騎手が5勝を挙げている。

■小久保智調教師が2勝

小久保智調教師は第21回、22回を現在連勝中。

※歴代では、福永二三雄、高橋三郎、故川島正行の元調教師が3勝ずつ。

■⑥番が5勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	2	3	2	1	2	5	1	3	1	0	0	0	1	0	0	1
2着	1	2	2	2	3	2	2	0	1	0	1	3	1	1	1	0
3着	3	1	2	2	0	2	1	1	2	2	2	2	1	0	1	0

■③枠が5勝でリード

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	3	2	5	3	4	3	1	1
2着	1	4	2	5	2	4	2	2
3着	3	3	2	3	1	4	3	3